

対面とオンラインの二刀流 ハイブリッド縮小総会を無事開催



オンラインのみなら簡単だ。ハイブリッドは、映像と音声会場に流す必要がある。(98期PC担当の室田氏と撮影担当の池谷氏)

昨年度は見送りとなった関東同窓会総会は、今年度7月2日(金) 18時、日本プレスセンター(現地)とZoom Webinar(リモート)での初のハイブリッド形式で開催されました。会場では新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した縮小総会・講演会のみを開催し、懇親会は中止となりましたが、リアル会場 45名、WEBによるリモート 44名の合計 89名の皆様にご参加いただきました。WEB併用の強みを生かし、母校から小関雅司校長、本部同窓会から松村友吉会長、三浦俊一事務局長と岩崎明教諭、そして柴田尚関西支部長、静高野球部後援会の河村卓利会長にWEBにてご参加いただきました。

98期 見城寛

静中静高 関東同窓会 会報

静中静高関東同窓会
会報 第92号
2021年12月1日発行
静中静高関東同窓会
会報編集委員会



目次

2頁	「講演後記」佐野倫(98期)
3頁	総会議事報告・質疑と回答
4・5頁	組織図・ハイブリッド総会記録
6頁	今後のイベント 異業種交流会・各期幹事会
7・9頁	特集「静岡にゆかり 徳川慶喜と渋沢栄一」
10頁	わたしと俳句 恩田侑布子(91期)
11頁	エッセイ 360deg Japan 横山隆美(87期)
12頁	たかが同窓会、されど同窓会 浦田彰(71期)
13頁	岳南球友会 松永啓(94期) 14頁 事務通信



特集は7頁から!

『静岡にゆかり』

徳川慶喜と渋沢栄一

総会は通信トラブルもなく、杉山会長を議長として滞りなく行われ、議案全てがリアル会場・WEBのそれぞれ賛成多数で承認されました。さらに、今回中止した懇親会を、来年2月26日(土)午後、日本プレスセンターにて通常の各期幹事会を拡大し実施することが発表されました。

母校野球部紹介の後、恒例の講演会では98期・佐野倫君がテーマ『おそろシア・おもしろシア』で、ロシア駐在時代からの「おそろしい」経験について講演を行いました。

最後に逍遙歌を(現地会場参加の方は心の中で)歌い閉会となりました。ご参加いただきました皆様、ご協力ありがとうございました。

幹事 98期としては、代表・星野典子さんを中心に2年越しの開催に取り組んできましたが、今回のハイブリッド形式での総会が無事に開催できましたのは、理事の皆様、オンライン化プロジェクトの皆様様の試行錯誤と強いリーダーシップのお蔭とただただ感謝申し上げる次第です。誠にありがとうございました。

「講演後記」

98期 佐野 倫

コロナウイルス禍で1年延期となった講演会を7月2日に行いました。講演のタイトルは「おそロシア・おもロシア」。講演の依頼を受けたのが2016年末、そこから何を話そうかあれこれ考えてきた次第です。この間、世の中というか皆さんの行動様式が様変わりし、講演の主題であるロシアでも同様であったので、そのような話にも触れようかと思っただけですが、何しろ私がロシアに駐在していた1980年代後半の現地の生活が、それ迄の自分の経験や常識をひっくり返すようなものでしたので、記憶をたどって専らこの時期の話題を中心に据える事にしました。



講演内容は絞りに絞り込んで次の構成となりました。
・隣国ロシアの国勢と地理風土
・そこに住む普通の人の考え方や行動

・何ともおそろしかった経験（運輸交通・ビジネス・日常生活）
・何ともおもしろかった経験（地方出張・飲酒）
・ロシアへの旅と交流のお勧め



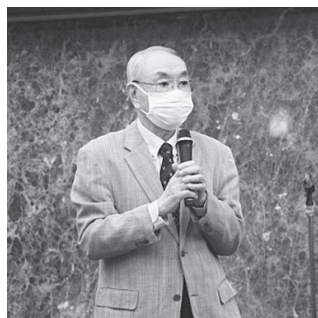
赤の広場の聖ワシリー寺院

我々日本人がマスメディアを通じて得る外国の一次情報は、先ずは政治的視点が切り口となる事が多く、一般の人々の日常生活というのがなかなか分からない。特にロシアのように隣国なのに旅行や仕事で交流が少なく、尚更です。その日常生活にしても、外向きの顔と裏の実情がまた違っていたりする。講演で話したような、交通警官と仲良くなり、ハニートラップまがいな騙され、カジノで痛い目にあった、というのも日常生活のまさに裏の話で

す。もつともそれは大都市での話であって、地方出張など行くと、当時はまだまだ大らかな人たちも多く、女子高生から会社社長に至るまで、何よりも先に一緒にウオッカを傾けてから理解し合う（？）というのが定番コースでした。勿論、ネット社会となった今では、大都市も地方も交流の方法が大きく変わっているはずですが、

とは言え、ネット社会に変容しコロナウイルスが出現しても、ロシア人の「おそろしく、おもしろい」キャラクターは全然変わっていないと、25年以上前に遡って資料を用意しながら、今回改めて思った次第です。それは私が確信するに、「広大な国土・両極端な気候・超多様な民族とルーツ」という所与の要件に深く根差している事に変わりがないからだと思っています。そして時代を経ても、そんな彼らのキャラクターにどっぷりと嵌って一緒に仕事をしたり、現地のごく普通のひと々と今でも交流が続いていたりするのは、本当に嬉しい限りです。

今回は、会場とリモートの同時シンクロ開催で、特に講演リモートはスライド・演者映像・音声をリアルタイムで流す初めての試みとなり、同窓生・同期生に多くの技術上の工夫と助言をして頂いたこと、改めて感謝申し上げます。



杉山会長「マスク越しで失礼します」



校歌斉唱で開会。心の中で声を合わせました。



16時までデジタル大臣の記者会見が入り 17時開場を30分繰下げ。要所確認後ぶっつけ本番となりました。



4月に就任された小関雅司新校長より母校の近況報告をしていただきました。



落ち着いた司会の岩下真理子さん（98期）



非接触を心掛けた簡素な受付に。当日の体温等を記入した自己申告票の受取りのみとしました。



この日のアルバム



総会議事報告

四議案について、議長が司会として指名した栗原副会長が左記のとおり進行しました。

【一号議案】

本部規約との整合性や、緊急時の対応など規約の改正理由が全て説明されました。

【二号議案】

前年度の事業報告と決算報告が行われ、また松島監事より決算が適正に行われた旨の監査報告がされました。

【三号議案】

今年度の活動計画と予算案の主旨が説明されました。

【四号議案・役員補充の件】

副会長退任による後任人事について青木副会長から理事会審議・承認に基づいた提案があり、ホームページ担当でありハイブリッド総会に貢献された理事・大澤理氏（96期）が副会長に推挙されました。

【議案審議】

事前のFAXと総会会場での質疑を受け、これらの回答は改めて会報で告知するものとし、上程された四議案について、会場とWEB上で採決をし、賛成が過半数に達したことから全議案が承認されました。

質疑と回答

各質疑について、正副会長および理事会で協議した結果、左記のとよりの対応をさせていたいただくことになりました。

Q1 総会開催日時の検討を。若手の同窓のために、土日開催や勤務時間にかからない時間帯などを検討できないか？

A1 定時総会の日程を検討し、母校・同窓会本部・各支部との調整が取れましたので、試行的に先ず次年度総会は、2022年7月2日（土）の開催とします。（総会会場にて、会長より説明）

Q2 ホームページの背景画像が印刷されない。

A2 印刷を前提にした仕様ではありませんが、必要であれば、画面をハードコピーして印刷する方法等で対処をお願いします。

Q3 規約がどこにあるかわかりづらい。ホームページのトップページにないのは、問題ではないか？

A3 規約の置き場所である「同窓会組織」のメニュータイトルを、「組織・規約」へ変更しました。

Q4 ホームページアクセスカウンターの設置されていない点は以前より指摘している。執行部として、定期的に確認すべきではないか？

A4 アクセス数の把握はしていますが、現ツールでは自動的な表示は不可能であり作り直しの開発コストがかかる為、半年毎にホームページ及び会報に、実数を掲載する試みを開始します。

Q5 会長代行の任期の件。会長に事故があった際の代行については、次回総会で会長を選び直す規約改正が必要では？

A5 会長は役員の一員であり、今回の四号議案と同様に、欠員の際は、前任者の残任期間を遂行する新会長を次の総会で選任できる規約であると解釈しています。今後も、その方針で進みますので、現規約のまま運用することをここに記します。

【今後の対応について】

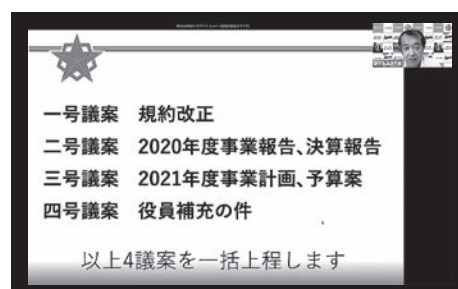
今回のように、会報にて議案の告知をし、事前に質疑を受けずる体制で、当日の限られた時間での進行でも、多くの会員のご意見をいただくことを考えておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくをお願いします。



会場照明が明る過ぎるとスライドの字は読み難く暗過ぎると登壇者が見えない。照度は課題。



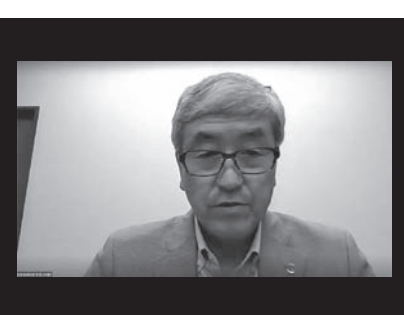
完成度の高いスライドによる母校野球部の紹介は河村卓利静高野球部後援会長（96期）より。



議事はオンラインで画面共有しながら、栗原副会長が進行役を務めました。



柴田尚関西支部長（81期）は大阪から



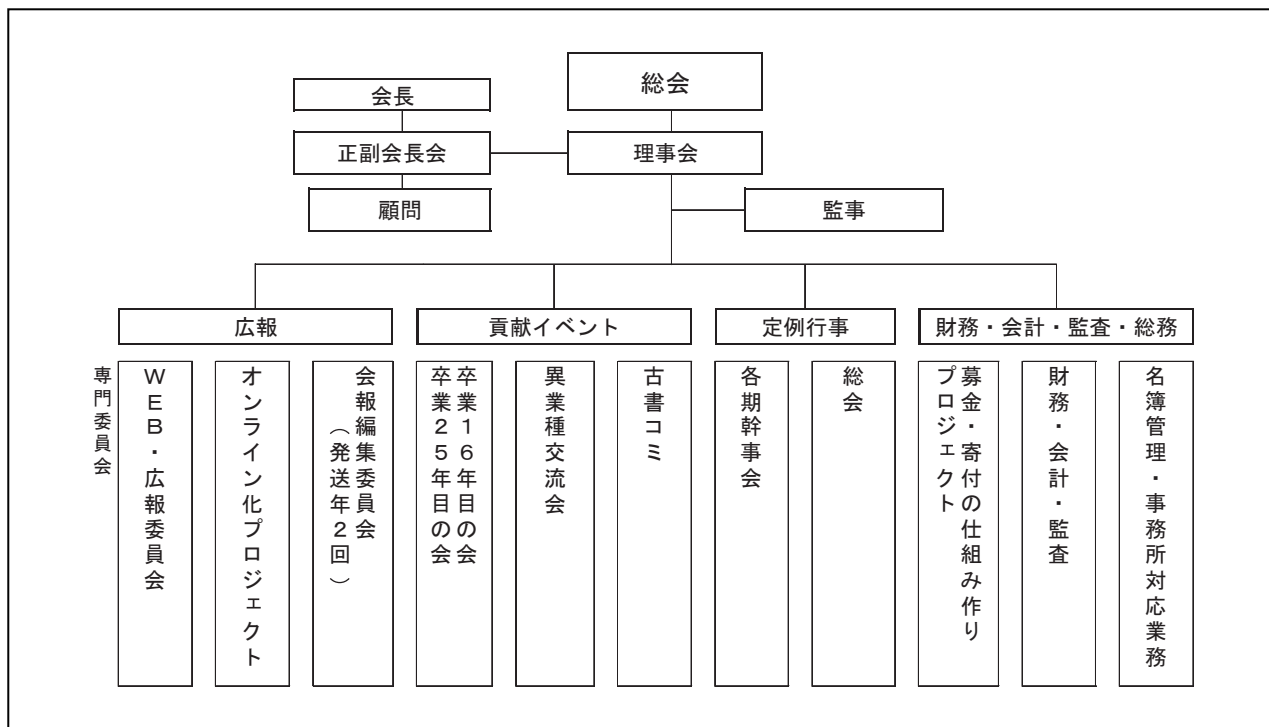
昨年度就任された松村友吉同窓会会長（88期）



本部事務局の三浦事務局長（89期）と岩崎教諭（96期）

各地からリモート参加をしていただいたご来賓各位

静中静高関東同窓会 組織図



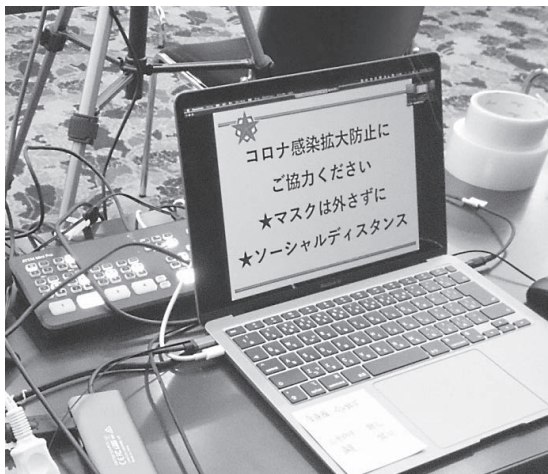
ハイブリッド総会記録

副会長 97期 中沢京子

ちょうど一年前の理事会。コロナ禍で先が見通せない次年度定時総会をどのように運営すべきか検討していた。前年度は世界中がコロナ初体験であり、日本でもステイホームが徹底され、当会も開催を見送り会報での書面報告とせざるを得なかった。今年度、役員補充は必至であり、気候変動による自然災害も激甚化している昨今、有事対応の規約改正も必要。どんな形であっても、現行規約に則った合議の必要がある。また、今やインターネットは我々の生活に根差している。多忙な若手の参加を容易にし、多様な事情の会員からリモートで広く意見を拾えるオンラインを取り込む必要は合意していた。総会では中止か、オンラインのみか、はたまたこれが案外、通常通りに出来るのか、誰にも予測できない。「どう転んでもいいように準備はしていこう」。リアルとオンラインの両方をカバーするハイブリッド型の準備を開始した。

テスト1 会場接続テスト 5/22

会場である日本プレスセンターでは、どのような内装配線になっているか、その現場確認が緊急事態宣言下ではできず、機器接続案に頭を痛めていた。パソコンには、音声ケーブルの末端を差し込むイヤホン穴が一つしかない。その為、複数台のパソコンで手分けしてカメラ、マイク・スピーカーを担当し、



当日	テスト3 最終判断	テスト2 会報発行	テスト1 ウェビナー契約	会報編集メ切	議案整備	オンライン化プロジェクト始動
7/12	6/20-	- 4/25	3/21-	- 1/8	緊急事態宣言	会場制限
上限70名	平日18時まで	終日休業	緊急事態宣言	緊急事態宣言	緊急事態宣言	緊急事態宣言
7/2 第五波の入り口が都感染者660人	6/25 まん延防止措置等重点措置公示	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長
6/25 ワクチン接種ペース超加速	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長	4/23 緊急事態宣言の発出3回目
6/25 ワクチン接種ペース超加速	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長	4/9 まん延防止措置等重点措置公示
6/25 ワクチン接種ペース超加速	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長	3/5 延長
6/25 ワクチン接種ペース超加速	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長	2/17 日本で初のワクチン接種
6/25 ワクチン接種ペース超加速	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長	2/2 延長
6/25 ワクチン接種ペース超加速	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長	1/7 緊急事態宣言の発出2回目
6/25 ワクチン接種ペース超加速	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長	12/19 国内で新規感染者3千人超え
6/25 ワクチン接種ペース超加速	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長	12/12 国内で一日死者1000人超え
6/25 ワクチン接種ペース超加速	6/17 まん延防止措置等重点措置公示	6/12 東京で初のデルタ株クラスター	5/10 大規模会場ワクチン接種始まる	5/28 東京2日連続10000人超え	5/7 延長	都・国内のコロナ状況

なんとか双方に伝送可能になることを目指したが、理事会など四方を壁に囲まれた箱（会議室）での試行では、TVモニターや、安価で購入したマイク兼スピーカーがハウリングし、かなり問題があった。音声は聞こえなければ総会は成立しない。発言が終わってもその場で会話

が続くと、マイクをスピーカーに切り替えられず、WEBから皆で呼び掛けても会議室にはその声がかく届かないといった事象も出ていた。コロナ悪化のニュースは日々更新され益々オンライン運営への比重は高まると同時に活動自体を自粛しては？という声もあった。

現場で一度もテストができないもどかしさの中、有難いことに記者クラブから緊急事態宣言による全館クローズのところを、我々のテストの為に土曜に会場を開けてくださる（しかも音響技師さん付）という話があり、感染防止対策を念頭に、操作担当者との最少人数で会場テストを行うことになった。これが無かったら、準備は間に合わなかった可能性は高く、誠に救われた。

映像配信の業界では、スイッチャー（下図）を多用していることは聞き及んでいた。喉から手が出るほど欲しかったが、今後使う確証もない4万円もするその機器を、会員の皆様からお預かりしている大事な年会費で安易に購入するわけにはいかない。そこへテスト当日、お目見えしたのが98期PC担当・室田氏と池谷氏の両エキスパートと室田氏持参のスイッチャー・ATEM（エーテム）だった。会議ホストとして複数ケーブルを繋ぎ、シンブルに運営することが実現し、配信のすべての課題は一気に解決した。神様、仏様、エーテム様である。

テスト2 WEBリハール 6/12
総勢21名。参加者は学校長、本部長、本部事務局、野球部後援会会長、そしてこちらの役員、オンライン化PJ理事、司会・PC担当・講演者を含む幹事（98期）のオールキャストだ。ウェビナーのパネリストとしての招待、入室方法に始まって、進行台本に沿った一時間のリハールでは、出演入りや持ち時間、画面演出など全員がイメージの共有をした。貴重なお時間をいただいたことに改めて感謝申し上げたい。

テスト3 WEB出席者の入室テスト

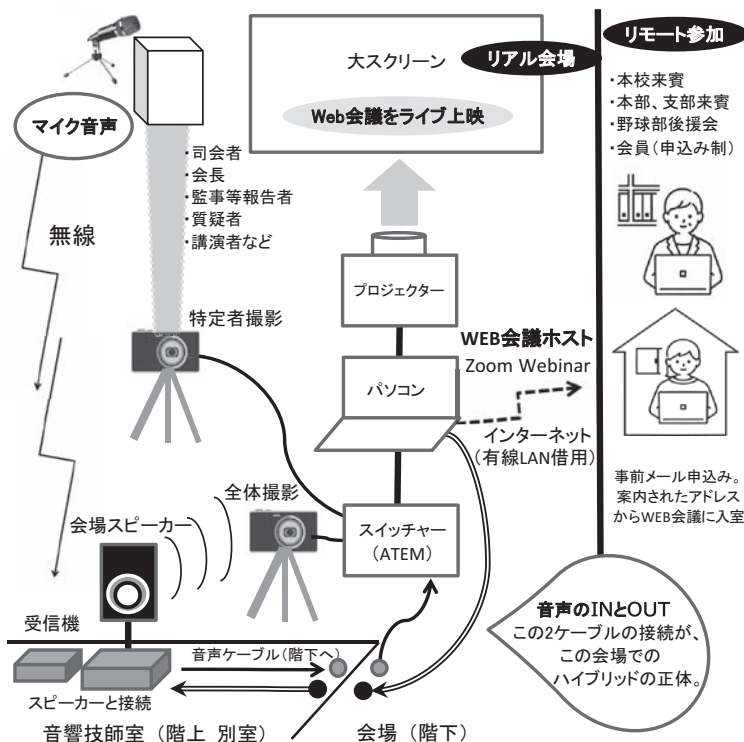
6/27

オンラインを利用する総会は初めての試みであり、リモート勤務が当たり前になったとはいえZoomの慣れ具合はまちまちである。視聴者招待、セキュリティの為のパスコード

カメラが付いていないPCなのか？残念ながら音声だけで...とやりとりを終えた20分後、元気なお顔が映し出された画面で再入室された。何えはお孫さんがパソコンを確認しカメラ入力の設定をしてくれたとのことであった。若者に感謝である。

以上の通り、多くの方々の協力があった総会成立だったということがわかる。お互いの意見に耳を傾け工夫を重ね、情報共有をしながら同じ方向を見ていくことが今後大切であろう。チャレンジしたからこそ学べた気づきも多かった。経験値を上げ、後輩に継承することで、より内容豊かな同窓会を構築できたらと思う。

関東同窓会 2021 ハイブリッド総会



「異業種交流会」1月再スタート

参加費無料！時流に合わせて大刷新！
簡素化・安全第一に。お気軽にご参加ください！！

世代を超えた絆、異業種交流会はコロナ禍で延期されていましたが、22年1月に再開いたします。30回目となります。

時流に合わせて合理化・簡素化・安全を基本とし、若い世代からシニア世代までが楽しく有意義に集える場といたします。学生の皆さんも気軽に「ご参加ください」。

(1) 従来のビュッフェ立食形式を当面やめ、着席方式で飲食無しとします。会費無料。
(2) ご希望者は交流会終了後クラブ・ラウンジなどで懇親（飲食可）いたします。
(3) 同窓生の同伴を前提に、「友呼び」といたしまして、ご家族をはじめとする卒業生以外の方の参加も歓迎いたします。

本会報の他、ホームページ（<https://shizuko-kanto-alumni.com/>）、フェイスブック（静中静高関東同窓会）でもご案内しております。

【第30回 異業種交流会】

日時：1月28日（金）

18時30分～20時30分

場所：日本記者クラブ9階会議室（日本プレスセンター）

◆ファーストスピーチ

菊入みゆき氏（95期）プロフィール：明星大学特任教授。株式会社「TBコミュニケーションデザイン」内ワーク・モチベーション研究所長。日新火災海上保険株式会社



社外取締役。事例に学ぶモチベーションマネジメント「できる人の口ぐせ」等の著書がある。

《参加申込は左記まで》

メール（関東同窓会公式アドレス）

shizukokanto@gmail.com

FAX：03（5217）0301

幹事代表：藤嶋善彦（91期）

幹事：笠松一久（89期）、高橋

宏（87期）、成岡和美（86期）、

八牧浩行（82期）

2022年各期幹事会について

（2021年度総会の懇親の場として開催）

副会長 94期 栗原 千朗

今年度総会では懇親の場が実現できませんでした。その代わり、各期幹事会を懇親の場として開催します。より多くの同窓のご参加のご検討をお願いします。

【開催概要】
日時：2月26日（土）
13時30分～15時30分
（13時開場・古書コミ開始）
会場：日本プレスセンター 10階ホール
会費：5千円

※開催につきましては、緊急事態宣言・まん延防止措置等の制限が無い条件で実施いたします。中止の場合、HPの告知と合わせご参加の方にご連絡いたします。

★各期幹事会とは
各期幹事会は、パーティー形式の和やかな懇親会です。各期との連携や懇親の目的で開催しております。今回は、総会の懇親会を兼ねていますので、幹事以外の方々にも気軽に「ご参加いただくように工夫し、各期代表の近況報告に加え、催し物等の懇親要素を中心に検討中です。」

★申込はWEBまたはFAX等

今期から各期幹事（代表者）からの発信をいたします。また、前回WEB登録された方にもご連絡を実施します。つきましては、各期同窓の間でご連絡を取り合い、より多くの方にご参加のご検討を頂きたいと思っております。

申込は、WEB・メールまたはFAXで受け付けます。
会場予約の関係で、申込期限は、1月30日とさせていただきます。また、ご欠席の場合も、ご近況などいただけると、各期ごとにご紹介をさせていただきます。

(1) WEBから
左記QRコードよりURLを取得し、必要事項を入力の上、送信をお願い致します。



↑
出欠・連絡フォームのQRコード。
欠席の方もご連絡を。

(2) メール・FAXから

下記のアドレス・FAX宛へ、次の5項目をご記載いただき、



前回（2019年度）2020.1 各期幹事会

▽ 野球部の近況報告
▽ 校歌・道徳歌斉唱
多くの方の懇親の場となるよう様々な企画もご用意します。

★多彩な企画もお楽しみに

▽ 古書コミ開催

今年度総会にて、2019年度総会＋各期幹事会での合計収益6000円分の図書カードを母校に贈呈できました。今年度は1回のみ開催ですので、奮って古本のご寄付をお願いします。

- 送信をお願いします。
- ① 出欠席の別（必須）
 - ② 卒業期（必須）
 - ③ お名前（必須）
 - ④ 同期宛てのコメント
 - ⑤ メールアドレス
- 個人情報取得目的は各期内の交流と同窓会各種企画の連絡に限定と致しますことを、ご了承下さい。

【mail】shizukokanto@gmail.com
【FAX】（事務所）03-5217-0301



《特集》

静岡にゆかり

徳川慶喜と渋沢栄一

NHK大河ドラマ「青天を衝け」は静岡が重要な舞台となった。主人公の渋沢栄一は「日本資本主義の父」としての仕事が駿府でスタートした。

最後の将軍・徳川慶喜は30年余り静岡に住み、歴史を彩る要人が行き交った。慶喜と栄一が闊歩した時代にタイムトラベルし、母校静岡中学の多彩な人物像にスポットを当てる。

静岡における徳川慶喜 その家臣渋沢栄一

77期 栗田 収司

40年余り務めた会社の仲間との勉強会で、「君は静岡なのだから故郷のことを話せ」ということになり、「静岡における徳川慶喜」を話す機会があった。その年の大河ドラマ「西郷どん」では、不評価の存在だったので、名誉を挽回したい気持ちもあった。この時に慶喜公と渋沢栄一の深いつながりを知った。

慶喜公は尊王思想の強い水戸藩主の七男、のちに英明さを見込まれて御三卿一橋家の当主となる。一方、栄一は今の埼玉県深谷

市の豪農の生まれ、領主の理不尽な強要に納得できず、反骨精神をもって江戸へ出て尊王攘夷の意思で倒幕運動に加わる。

しかし、元治元(1864)年、運命はこの二人を一橋家当主と家臣の立場で結び付け、栄一は一橋家の財政を立て直し、深い信頼を得て出世街道を進む。

時は流れて慶応2(1866)年、慶喜公が第15代征夷大將軍になると、栄一は幕府陸軍奉行支配調役という幕臣になった。翌年、慶喜公の弟・昭武公(民部大輔)の随行員に抜擢され「パリ万国博覧会」に向い、数年間はパリに留学することになった。しかし、

パリ滞在中に「大政奉還」「鳥羽・伏見の戦い」が起き、慶応4(1868)年、徳川幕府は崩壊。慶喜公は寛永寺、水戸を経て、7月に静岡藩の宝台院での謹慎生活に入る。

昭武公一行は明治新政府の命令で急遽帰国し、栄一は同年12月、昭武公の親書を携えて慶喜公に拝謁すべく東京を立ち静岡へ向かう。その時、栄一は慶喜公の大政奉還の不甲斐なさとその後の薩長との対応に不満を持っていた。その拝謁した場面を、『徳川慶喜と渋沢栄一 最後の将軍に仕えた最後の幕臣』(安藤優一郎著)から引用する。

「明治元(1868)年12月23日午後10時、フランスから帰国し

たばかりの渋沢篤太夫(栄一)は静岡城下の宝台院の一室で、主君徳川慶喜との拝謁の時を待っていた。(中略)栄一は後年、その時のことを次のように語っている。時に栄一は29歳。慶喜は3歳年上の32歳、二人が再会を果たした部屋は粗末な六畳ほどの部屋。とても、かつての将軍が拝謁を受けるような空間ではなかった。

公の幽居宝台院に出たのはあたたかも夕暮の事で、行燈の前に端坐して公の御出座を待つて居る間に、佗住居の御様子を見廻して、昨年御別れ申した時とは実に雲泥の相違と、そぞろに暗涙にむせび居るところへ、公は座に入らせられたので、一通りの御機嫌を伺い畢ると、覚えすての宿疑が口に出て、政權返上の事、またその後の御処理は如何なる思召であらせられたか、如何にしてこの如き御情なき御境遇には御成り遊ばされたか、御尋ね申したところ



静岡宝台院庫裏座敷
(徳川慶喜公伝 四巻より)

慶喜公は栄一の言葉をさえぎって、重い口を開いた。

公は泰然として、今更左様な縁言は甲斐なき事である。それよりは民部が海外における様子はどうであつたかと、話頭を他に転ぜられた。

こうして、慶喜との再会の時は終わった。「太文字は渋沢栄一著『徳川慶喜公伝』」

明治2(1869)年9月、慶喜公は宝台院での謹慎は解かれたが引き続き静岡に住み、紺屋町の元代官屋敷(今の浮月楼)に移る。慶喜公の静岡移住に伴い、江戸から付いてきた幕臣は八千人とも一万人とも云われ、特に「無禄でもいいからと静岡藩士を望む者が五千人を超えて」(静岡県史)、旧幕臣の優秀な人材が静岡藩に集まった。

静岡後輩の曾祖父は江戸から移った幕臣で、慶喜公と親しかった。後輩の母親が聞き取った手記には、「その時に、曾祖父が千人の移住者の頭となつたので、家族と手回り品だけ同船して、大きな家財道具などの荷物は別の船に乗せたが、その船が海賊にやられたり嵐に沈んだりして、荷が届かなかった。」と記され、敗者撤退の悲壮さを物語っている。

私の中学生の時の先生は「静岡の言葉は江戸から移住した多くの幕臣の言葉だから、これが日本の標準語だ」と言っていたが、そんな話は静岡の友人・知人からも



上) 紺屋町慶喜邸(いま浮月楼)(茨城県立歴史館蔵)
左) 浮月楼前に今も石碑が建つ (2021.10 栗田撮影)



たびたび聞き、私も単純に誇りに思っていたものである。

慶喜公への拝謁を終えた栄一も静岡に留まり、銀行と商社の機能を持つ「静岡商法会所」を設立し財政の基盤づくりに貢献した。資金繰りが苦しかったお茶農家に貸付の支援をしたり、江戸から駿府についてきた幕臣たちに牧之原台地に茶づくりを勧め、現在に至る特産品である「静岡茶」発展の礎を築いた。

その頃、東京では新政府ができ、首脳陣は揃えたが、田舎大名の家臣では国政を回しきれず、静岡

藩の優秀な人材を東京に戻すことが進められていた。栄一もその一人で、彼の才覚に目を付けた新政府に召し出され一年足らずで静岡を去り、新政府においても重用され大蔵少輔まで上り詰める。

この後の活躍は大河ドラマや諸論にゆづるが、栄一は明治6年5月に役人を辞し、経済人として活躍する過程で静岡の慶喜公のもとを何回も訪れ、信頼関係を深めてゆく。

慶喜公の生活

美賀子夫人と2人の側室、子供は21人、その他に一橋慶喜の頃のお妾・芳がいた。芳の父親は江戸の侠客新門の辰五郎。彼は娘とともに静岡へ来て慶喜公の警護の奉公をしたが、まもなく娘と一緒に東京へ帰ることになり、山岡鉄舟の取持ちで親しかった清水次郎長に、その後を託したと伝えられている。

慶喜公は政治的野心を全く持たず、潤沢な隠居手当を受けて写真・狩猟・投網・囲碁・謡曲など趣味に没頭する生活を送り、「ケ



慶喜公の狩猟姿 明治20年静岡市七間町徳田撮影（松戸市戸定歴史館蔵）

イキさん」と呼ばれて静岡の人々から親しまれた。一方で旧幕臣の訪問を受けても栄一など一部の例外を除いてはほとんど会おうとせず、共に静岡に移り住んだ旧家臣達の困窮にも無関心で、「貴人情を知らず」と怨嗟の声も少なくなかったと伝わる。

慶喜公の評価が分れるポイント

●大政奉還の功績

一番の功績が大政奉還。慶喜公が大政奉還しなかったら激しい内乱が起きて、外国からの介入と侵略をもたらし、植民地になっていた可能性がある。鳥羽・伏見の戦いの後に、フランスは幕府に再度戦うことを要求している。

●鳥羽・伏見の戦いでの逃亡

幕府軍は薩長軍の3倍ほどの勢力があり兵器も整っていたが初戦の失敗で敗れ、慶喜公自身が戦わずに江戸に逃げ帰った行動に批判が集まる。評価を著しく下げている要因がこの一点にある。

慶喜公を支えた家臣・渋沢栄一

慶喜公には渋沢栄一を世に出したという大きな功績がある。

幕末迫った頃、慶喜公は栄一を引き上げて留学させている。栄一自身も慶喜公に恩義を感じ、慶喜の名誉回復のために『徳川慶喜公伝』を出版する。

慶喜公の元代官屋敷を訪問した人を解説した『慶喜邸を訪れた人々―「徳川慶喜家扶日記」より―

（前田匡一郎編著）には、徳川宗家の徳川家達や勝海舟、慶喜家の家扶だった新村猛雄とその養子・新村出などの他に渋沢栄一がしばしば訪れた記録があり、そのほとんどが「御逢有之」でたびたび食事とともにして、他の訪問者との対応の違いがはつきりしている。政治向きの話は一切なかったと云われている。

東京へ戻った徳川慶喜

明治30（1897）年、30年ぶりに東京へ戻って巢鴨に住む。翌年、皇居にて明治天皇に拝謁。明治34（1901）年、小石川区（いまの国際仏教学大学院大学）に転居し、ここが終焉の地となった。

明治35（1902）年には公爵に叙され、貴族院議員に就いて、35年ぶりに政治に携わることになった。

明治43（1900）年、七男の慶久に家督を譲り、隠居。3年後の大正2（1913）年11月22日、感冒にて死去、享年77（満76歳25日）。

エピソード

明治天皇が慶喜公と会った直後に伊藤博文に語った言葉が伝わっている。

「今日やっと罪滅ばしが出来た。何しろ慶喜が持っていた天下を取ったのだから。慶喜も酒盛りしながら『お互い浮世の事なので仕方ない』と、言って帰った。」

※※この取材のあと浮月楼の久保田耕平社長にお目にかかりました。静岡二〇〇期43歳、昨年、社長になったばかり、爽やかで気鋭のお人柄に感銘し、コロナ禍で難しい世の中、この若い経営者に頑張ってもらいたい、応援したい気持ちになりました。（紺屋町にて）



たぶん
こうだったんじゃないか
《慶喜と栄一・次郎長》

85期 安本 敬

大河ドラマ「青天を衝け」で最初に気になったのが血洗島のこと。と「だに」であった。「しつかりするだに」は浜松の言葉ではなからうか、それが何故深谷で。ここによると領主が領地替えの時に浜松の人を新領地に連れて来たのかもインターネットで調べると当時の血洗島の領主は安部氏でありもともとは安倍郡井川の出のようだ。これはヒットと思ったが、しかし遠江や三河ではない。どうやら「だに」は出雲や三河のほか全国各地にあるらしい。最近はいんターネットによっていることが手取り早く調べられる。さて、9月に入るとドラマはいよいよ静岡編となった。以下はネットで調べた

「たぶんこうだったんじゃないか 慶喜と栄一・次郎長」である。最後の將軍徳川慶喜は水戸で謹慎生活を送っていたが、徳川が駿府藩70万石を治めることになることと水戸から清水を通って明治元（1868）年7月に静岡の宝台院で謹慎する。一方、渋沢栄一はパリから帰国後の明治元年12月末に徳川昭武の書状をもって慶喜に拝謁・再会する。東京に帰るつもりが静岡に留まることになり明治2年1月に「商法会所」なる商社と銀行を兼ね備えた事業を立ち上げる。「商法会所」は駿府藩代官所跡に置かれ栄一もそこに住まいすることになる。現在の浮月楼である。これまでの江戸時代の事業は個人の資金で商売をしていたが、「商法会所」は駿府藩と有力商人たちが資金を出し合って大きな資本金とし事業運営するという合資会社あるいは株式会社のようなものであった。とすると日本における近代会社経営の始まりはここであったのか。浮月楼は慶喜の隠居所として有名であるがそれより前に日本の近代会社組織の発祥地でもあった。

「商法会所」の主な取り扱い商品は、米不足を常としていた静岡らしく米の買い付けと藩内の茶や漆器の販売、資金の貸し付けであった。米は江戸時代より甲州米

が富士川舟運により岩淵・清水・江戸へと運ばれている。富士川舟運は徳川家康の命で角倉了以により開発された歴史がある。

慶喜は明治2年10月に謹慎を解かれて「常平倉」(8月に「商法会所」から改め)のあった紺屋町に移り隠居生活に入る。それから慶喜は伝えられているように政治には口を出さず、油絵、写真撮影、狩猟、放鷹などに明け暮れたらしい。また投網にも夢中になっていたようで清水まで網打ちに出かけている。



「清水港波止場」 明治20年代の清水港
徳川慶喜撮影(茨城県立歴史館蔵)

静岡の物産と言えはなんといってもお茶である。「商法会所」にかかわる主な町民もお茶問屋であった。お茶と並ぶ産業を考えていた栄一は当時横浜からの主要な輸出品であり実家の稼業でもあった養蚕を考えていたらしい。

さてここで静岡人としては同じ時代に生きていた清水の次郎

長がなんのかわりもなかったのか気になるのである。次郎長と言えは富士川舟運をめぐって甲州の黒駒の勝蔵と出入りまですしている。次郎長ももと言えは米問屋の養子、これらと何等かかわったのではないかと推測される。そこでまたまたネットで調べてみるとヒットしました。

次郎長は明治2年12月に慶喜の警護のために付き従ってきた江戸の火消で侠客、新門辰五郎から慶喜の警護役の引継ぎを依頼され引き受けていた。投網に来ていた慶喜とも話す機会があったのではないか。そこでたぶんこうだったんじゃないか劇場。

慶喜「洪沢栄一という者が養蚕も旧藩士にやらせてみてはどうかと申しておるが」

次郎長「しぞーかん衆は権現さまが開やーてくれた富士川で運ば



「安倍川鉄橋上り列車進行中の図」
徳川慶喜撮影(茨城県立歴史館蔵)

れる甲州米を食べてるら。甲州の百姓ん衆はお米とお蚕でやってんだよ。やんならミカンずら、お蚕はやっちゃいけねえら」大河ドラマでは描けない懐かしい任侠時代劇の一コマである。



多彩な静中人脈

慶喜・洪沢とも交流

82期 八牧浩行

静岡中学は明治11(1878)年師範学校の中に尋常中学として発足。幾多の俊英を世に送り出してきた。徳川慶喜が隠遁し、洪沢

栄一が活躍した明治大正期に静岡でこの二人に関わった卒業生は数多い。静岡で随一の伝統校なので当然だろうが、文献などを調べるうちに誇らしい気分になった。

静岡7期の言語学者・新村出(1876~1967年)が岩波書店のすすめで編纂したのが『広辞苑』。言語の正しい用法はもちろんのこと、意味、由来を平易に記述した力作である。20万語という膨大な語数を考えると気の遠くなるような大偉業で、昭和31年に文化勲章を受章した。

静岡野球部は大正15(1926)年の甲子園大会で優勝した。夏の

大会では静岡県で唯一の全国制覇である。この時の監督は加藤周蔵(1883~1948年)。静岡14期で「文武両道」をリードし、日本学生野球の父・飛田穂州から兄貴と慕われた。

実はこの二人は実兄弟である。父は幕臣で慶喜とともに静岡に移り住んだ関口隆吉。戊辰戦争の際に慶喜に仕え、慶喜の身辺を警護する精鋭隊の中心として慶喜の静岡移住に尽力。1884年に静岡県令となり、初代官制県知事となった。明治22(1889)年に用

宗で鉄道事故に遭遇し危篤になった際に、慶喜が見舞ったとの記録もある。

関口隆吉は勝海舟、山岡鉄舟とも親交があった。新村出は隆吉の次男。慶喜に目をかけられ静岡中学時代に慶喜の子息の家庭教師を務めた。慶喜が撮った写真には若き日の新村出が登場する。

新村出は洪沢栄一にも可愛がられ、栄一の四男・洪沢秀雄の著書『父・洪沢栄一』に、「一、二年前ラジオを聞いていたら、文学博士新村出先生も、むかし、父に文学などツマランから実業をおやりなさいと言われたと話しておられた」という記述がある。この著作は昭和34(1959)年に刊行されたので新村出のラジオ出演は80歳代の晩年と推察できる。父も子二人も名字が違うが、

当時、優秀な子供は名家に養子に迎えられるのが一般的だった。

明治・大正期に活躍した静岡OBは多士済々。文化勲章受章者には新村出の他、内科・病理学の権威・勝沼精蔵(19期)がいる。「人権擁護の神様」と言われた弁護士・海野晋吉(19期)や人気作家だった村松梢風(22期)、人間国宝・芹沢銈介(28期)、財界四天王と言われた水野成夫(33期)らキラ星の如く輝いている。

慶喜と静岡(駿府)に移り住んだ幕臣は数千~1万人ともいわれ、この子孫の多くが静岡中学で学んだ。そのまた末裔が静岡諸兄弟に繋がっているとすると歴史の重みを実感せざるを得ない。

NOT IN PUBLIC

慶喜、栄一、新村出、加藤周蔵らも闊歩していたであろう。静岡駅前通りの古写真に思いを馳せる。

明治20年代の静岡駅前風景写真
写真提供 シェイクスピア・ギャラリー
清水篤氏(92期)

わたしと俳句

かおる秋蘭

91期 恩田侑布子

(俳人・文芸評論家・樸「あきこ」代表)

いちめんに藤袴がわきゆらい
でいました。ゆつたり閑かなほほ
えみのように。

静岡駅から梅ヶ島へいたる街道が、こころなしか山道めく上りにさしかかる地点。安倍川の堤沿いです。河原はまだ広く、空ものびやか。対岸の山も遠い。ここから車を四、五十分走らせるだけで、あの日本三大崩れの一つ、大谷崩の、とめどもない礫の崩壊斜面に行きあたるとは信じられません。

あるかなきかの秋風に、藤袴は鶺鴒色をうすくほぐした花をゆらしています。おや、羽衣のようなひらめき。いくつもいくつも蝶がゆるやかに舞っています。あさぎまだらです。秋天には鶯の脈があるのでしょうか。見れば白い恥じらうような花のまつ毛に、吸蜜管の絹の黒糸を差し込むところ。漆黒の胸には純白の水玉模様。はやくも海をわたる波しぶきの予兆でしょうか。二千余キロも南へゆく蝶には錨も港も要りません。この日溜まりの藤袴があれば。

●プロフィール

昭和31 静岡市一番町生まれ

昭和54 早稲田大学第一文学部文芸専攻卒業。

平成12 句集『イワンの馬鹿の恋』刊。朝日新聞・毎日新聞全国版書評に浴す。

平成17 句集『振り返る馬』刊。

平成20 句集『空塵秘抄』刊。

平成25 芸術・俳句論集『余白の祭』刊。同作により第23回ドゥマゴ文学賞を受賞。

平成26 27 バリ日本文化会館客員教授として、同会館やコレージュ・ド・フランスを始め、

フランスの大学で俳句と日本文学の講演五回。

平成28 句集『夢洗ひ』刊。同作により第67回芸術選奨文部科学大臣賞、第72回現代俳句協会賞、第9回桂信子文学賞を受賞。

令和3 編著『久保田万太郎俳句集』(岩波文庫)刊。

令和4年3月 芸術・俳句論集『渾沌の恋人』(北斎の波、芭蕉の興)(春秋社)刊行予定。

◇平成16年よりSSS学苑「楽しい俳句」講師。

◇令和元年より現代俳句協会賞選考委員、令和3年より神奈川大学全国高校生俳句大賞選考委員。

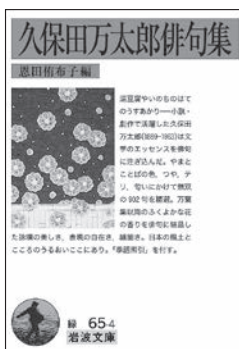


静岡新聞社にて撮影

秋の七草では、葛の花に、山野の畔が香水の甘いつぼとなる

処があります。藤袴の馨といえ、たおやかにただ胸の底を灑ぐばかり。それは幻惑や陶酔とは無縁に、いつも閑かに己を持して待っています。それこそ、東洋最古の詩人、屈原が愛した秋蘭、藤袴です。

待つといえ、どんな苦しいときも万太郎の俳句はわたしを待っていてくれました。ちょうど藤袴のうすあかるみのように。その『久保田万太郎俳句集』が今秋、岩波文庫になりました。編纂、解説を任されるとは夢にも思ってい



岩波文庫 ¥740+税

いませんでした。

高校時代は一応新聞部でしたが、会員ひとりの読書部に没頭していました。自転車通学の気安さから、呉服町の吉見・谷島屋・江崎の三書店をはしごするのが何よりの愉しみで、小遣いはもううそばかりカゴいっぱい買って帰る本代に化けたものです。当時の岩波文庫が、星一二つを帯に瞬かせて、いまま本棚にひしめいています。若い方はおわかりにならないでしょう。星一つが五十円でした。

万太郎句を好きになったのは遅かった。三十を過ぎていました。今回の解説では、「嘆かひ」の俳人や、浅草界隈の情緒という湿っぽいイメージを一新したいと思いました。その真価は「やつしの美」のやさしさにあると思ったからです。ブックカバーは小村雪岱の「薄雪双紙」の隣に、「やまことばの色、つや、テリ、匂いに

かけて無双の九百二句を精選。日本の風土とこころのうるおいここにあり」と記しました。名句をそぞろ歩きする絵巻の庭園には、散文の築山と、ほつとくつろぐ小唄の水亭も添えました。ミニ歳時記にもなる季語別索引も付して。

個人的には作者の苦難の人生に共感していました。現実に満ち足りていれば文学をする必要はありません。二十代で浅草田原町の生家が銀行の手に渡り、青、壮、初老期と着の身着のまま焼け出され、戦後は接収に遭う。生涯五度も家を失ったのです。妻の自殺、ひとり子の夭折と、どしゃぶりのなかで、窃かに情のある日溜まりの暮らしてに憧れていました。三界火宅の人は、俳句をつぶやく時だけ安らいで、秋うららの草の花のような俳句を詠んだのです。

編者も、両親の終りのない修羅場に、希望も受験勉強もアバンダンした遅刻常習犯、やけのやんぱち組でした。まさか、知命過ぎから同窓諸賢と句座を楽しく囲めるようになるうとは。さらに、静岡三田会会長や稲門会会長のお力添えを仰ぐことになろうとは。人生は生きてみなければわかりません。

今朝も思いがけない電話が入りました。岩波の編集者の声が弾みます。

「岩波文庫トップクラスの売れ行きです。急ぎ増刷です。品切れ店が出そうで」

わたしは駿河山中の竹やぶの下で、嵇康の詩のひとつしをうぶやきます。

仰ぎ慕う同趣のひと

其の馨は蘭の若し

「同趣」は同志です。住まいの遠近はあるうと、蘭、そう、藤袴の馨につどあさぎまだらのところは「八面玲瓏」です。

自然を胸奥の鏡とした中国古典詩の「興」に季語の源を探り、

日本の文化に筆を伸ばした『渾沌の恋人 北斎の波、芭蕉の興』が、来る三月、春秋社から出ます。売れるのはタレント本とコミックばかりの出版不況のさなか、手間ひまかかる校閲と校正に、九十五期の坂井則之さん、島田淳さん、見原万智子さんが慧眼を光らせて下さいました。すべて菩薩行。こんなにまでしてもらっていいのかしら。甘露の出会いです。

お浅間さんの石鳥居をくぐって長谷通りを進み、なにげない横丁を曲がります。ほどなく木立と校門が現れます。街中なのに車の音はしません。賤機山のみどりの腕に懷かれ、バックネット横には「八面玲瓏白雪の」富士が浮かんで。時期はすれちがっていてもこの土を青春期に踏んで通った「同趣のひと」の聲につつまれています。

《エッセイ》 気候変動の理解を 助けてくれた静高の教育

87期 横山 隆美



私は87期(1971年卒)で、米国保険グループのAIGに42年間勤めた後、現在、国際環境NGO 350.org Japanの代表(日本ではスタッフ4名の小所帯です)として気候変動問題の解決に取り組んでいます。

高校時代は硬式テニス部と比べると遥かに地味な軟式テニス部でした。1年先輩には練習後、学校の周りを5周走らされるなど随分しごかれました。そのお陰で、2年の冬のマラソン大会で20位に入賞。それで強気になって、友人に誘われるまま受けた京大受験に失敗。担任の故望月正先生に「来年は東大を目指せ」と言われたのを、ぎりぎりで落ちたのだと勝手に思い込み、翌年目出度

く合格。大学では将来何をやりたのか定まらず、当時水俣病など公害が大きな社会問題だったので、公害と無縁の損害保険会社に入社。会社の社風と相性が良く、25年間AIG傘下の保険会社3社の代表者を務めました。65歳で退職後、ボランティアをしていた今の団体から、前任者の昇格で空席になった日本代表の話が出て、現在に至っています。

高校では文系でしたが、当時は全生徒が化学、物理、生物、地学の全てを履修しました。理系の学科はそれほど得意ではなかったですが、温暖化を理解する上では基礎知識が大変役に立っています。例えば、気温が上がると大気中の水蒸気量が増えて豪雨が発

生しやすいとか、水温が上昇すると海水が膨張して海面が上昇するとか、シベリアの永久凍土が融解すると黒い土が表出してエネルギーを吸収してしまうとか、アマゾンが光合成で二酸化炭素を吸収することなど、抵抗なく理解できます。温暖化の原因が、大気中に100年以上滞留する二酸化炭素などの温室効果ガスの累積排出量だと知れば、高2で教えられた数Ⅲの積分の考え方です。改めて静高の教育に感謝です。

我々の世代は化石燃料を燃やすことで経済成長を達成し、物質的豊かさ便利さという恩恵を享受してきましたが、一方温暖化という異常気象の多発や生態系の崩壊につながる負の遺産を残しています。若者世代は、この原因を作っていないにもかかわらず、将来さらに積み上がる負の遺産を解決しなければなりません。このような不正義の意識から、スウェーデンのグレタ・トゥーンベリさんが2018年に始めて、全世界的に広がった Fridays For Future という運動を存じかと思っています。2019年の国連気候行動サミットでは世界で700万人が参加する大規模なデモになりました。

日本でも各地の高校生、大学生がこの運動を展開していて、我々NGOは様々なアクションで協

働いています。彼らを見ていると、私の静高時代とは雲泥の差というくらい深く社会的な問題に関心を持って行動していて、話すたびに感心させられます。この齢になると若者と接する機会が少なくなるのが一般的ですが、交流を通じ彼等からエネルギーをもらったり時には頼られたりすることとで先生という職業の醍醐味の一端に触れ、なぜ、教師という選択肢を考えなかったのかと思います。同窓会でお会いする先生方がお若く見えるのには、この様なエネルギー源があるのでしょうか。

温暖化は年々悪化し産業革命前と比較すると、既に1.1℃上昇。グテーレス国連事務総長が強調しているように、これからの10年で温室効果ガス排出を半減近くさせ世界の気温上昇を1.5℃以下に抑えなければ、温暖化がさらなる温暖化を生むという不可逆の悪循環に陥る可能性がります。1.5℃上昇でも影響は大きく、サンゴの70〜90%が失われるとされています。それを防ぐためには、政治が脱炭素の経済・社会構造に向け大転換の舵を切る必要があります。

環境NGOにいると欧米に比べ日本の気候危機意識が低いのに驚きます。この問題を正しく認識するためにはコロナ同様、科学

の知識が必要です。経済成長を謳歌したからというだけでなく、静高で学んだ我々OBには気候危機解決をリードできる力があると思います。皆様がそれぞれのお立場でこの問題に取り組んでいただくことを望んでおります。

350.org (スリーフィフティ.オルグ) の団体名は、「350 ppm」に由来しています。数多くの科学者や気候変動の専門家、先進的な国は、350 ppm が二酸化炭素濃度の「安全」なレベルであるとするハンセン博士の意見に同意しています。現在、全世界で143名のスタッフが中心となり活動しています。



《連載エッセイ》

たかが同窓会、されど同窓会
第23回

「これもまた、不要不急か」

71期 浦田 彰

この夏の盛り、東京オリンピックの聖火が真新しいスタジアムのモニメント台に消え、甲子園に響いた「岳南健児」も一陣の夏風とともに虚空へ消えた。すでに秋は深く、令和3年の夏は思い出の中に沈む。と、いささか感傷的な書き出しで恥ずかしいのですが、コロナ禍に明け暮れたこの夏は、八十余年を生きた私にとって忘れられない夏となりました。

サテ、昨年流会となった関東同窓会の総会は、ご承知のように今年にはオンライン形式が導入されました。総会の経緯は当番期の98期の皆さんの巻頭リポートに詳しいのですが、初めての試みとして様々な試行錯誤があったようです。それでも、さすがAIビジネスに長けた98期です。見事な会の進行ぶりでした。

しかし、私には、どうしてもこのオンライン形式には馴染めません。モニター画面をとおして何事かを語り合い賛否を問う。とてもこれが同窓会の集まりだとは思えないのです。たしかにこのや

り方なら、時間も経費も効率的ですし、企業の販売会議ならITを駆使した優れたニューメディアだと思えますが……。今年の総会も幾つかの議案の裁定や規約の改定などがあり、執行部は万やむを得ず、オンライン形式を採ったのでしようが、懇親会のない総会は今限りにしてほしいとの願いです。懇親会の無い同窓会なんて、黒はんぺんの無いおでん鍋みたいなものです。

コロナ禍以来、巷のキーワードは「不要不急」です。この2年間、私のカレンダーから職場のOB会も、カラオケ同好会も、オトコの料理教室も、N響演奏会も、町内会の盆踊りも、陶芸自慢の旧友の展示会も、悪友たちとの小旅行も、そして、同窓会の集まりへの参加も、不要不急だとしてすべて消えました。「錆びついた」2年間でした。

しかし、不要不急は「文化」だ、と思います。人々の営みとしての「文化」はすべて不要不急なものです。人生を豊かにしてくれるのが「文化」だとすれば、「不要不急」こそ文化の母です。人生を楽しむためには不要不急なものを排除することはできません。

「酒場放浪記」の吉田類さんは新宿ゴールデン街で「酒を飲み、語り合う文化が不要不急だとして、否定されたらこの先どうなる

のか、肩を抱き合い、誰もが分けてなく語り合う解放区はどうなる……」と困惑し嘆いています。同感です。いま、目の敵にされているのが「夜」「酒」「語り合い」です。じつと我慢です。



「ガッツ」に集った時の71期生と市川氏（右から二番目）

同窓会は不要不急でしょうか。たかが同窓会ででしょうか。

コロナのお蔭で「文化」を味わうゆとりのないこの2年、同窓会の集まりなど不要不急なものとして、皆さんのカレンダーから消えたことでしょうか。しかたがありません。ウィルスの脅威から他者の生命を守るため、やむを得ない緊急避難です。集まって旧交を温めることもできない。皆で甲子園を語ること、岳南健児を歌うこともできない、だとしても、皆さんにはこの「会報」があります。会報は誰にでも開かれた「こと

ば」の広場です。おいに利用してください。果てしないこの巣籠りを奇貨として、同窓生の消息、同期会の今後、母校の出来事、珍しい静岡情報：何でもかまいません、肩を寄せ合い、語り合う「気分」で投稿してください。

ステイホームで無聊をかこっている私などは、所詮、文化の受益者に過ぎません。生活を賭けて「自粛」と「不要不急」と戦っている人たちが、レストランのキッチン、飲み屋のオヤジ、旅館の女将、旅行会社の窓口嬢、コンサートホールの支配人、芝居小屋の頭取……それを取り巻く諸々の人たちが、皆々「文化」の発信者・提供者です。

10月1日、緊急事態宣言が解除された日、そんな中の一人、先々号で紹介した居酒屋「ガッツ」を経営する市川徳二さん（112期）に電話しました。「宣言の発令中、ほとんど閉店休業。政府の給付金で何とか……今日からは、都の認証条件を守りながら頑張ります。営業時間や着席制限など、まだまだ制約があります。馴染のお客も励ましてくれるし」と、居酒屋のオヤジらしい元気な声でした。

明けない夜はありません。秋になり、夜明けの気配が感じられ、明るい出口が見え始めました。二十一世紀の「文化大革命」も終わりはあります。



友よ、飲み語り合おう

静岡のおでんとお酒と黒はんぺん



静岡おでんガッツ

☎ 03-6273-8663
🌐 <https://shizokaoden-guts.red/>
📧 @ShizokaOdenGuts
📍 静岡おでんガッツ
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場2-19-8 阿部ビル1階
代表 市川 徳二（112期）

*静岡おでん「ガッツ」
03-6273-8663 JR 高田馬場
駅直近高架線脇

新しい時代に岳南の球音健やかに響く

岳南球友会員 94期 松永 啓

今夏静岡県大会は、創部以来「50年間を通じて最優秀成績だった。」「六試合無失策失点一」の金字塔を打ち立て出場した聖地であったが、春夏甲子園十回優勝県みかん王国愛媛の新田に敗れた。かつて甲子園で十試合投げた44期上野精三、同じく十試合の48期鈴木芳太郎、五試合の78期石田勝広、91期秋本昌宏のように高須大雅投手が令和の夏に投げ、終戦記念日を越えて勝ち進むとの期待は空しく消え去った。

草薙の高須は最高だった。直球が打者の胸元で伸び、多球種が低めに決まり、内外野手は躍動の美技から攻撃に転じ、鋭いミートを連ね走って点を取り、浜名・清水桜が丘・浜松市立・富士市立・磐田東に快勝。決勝では、全校応援の東海大翔洋（過去東一東工を含め夏に八勝八敗）の怒涛のTOKAI一ツに乘る縦編強打線を封じて四番池田がライナーツランの場面は、半世紀前の満員の草薙を彷彿とさせる迫力だった。その盤石の高須が新田に揺さぶられ、追撃の打線が繋がりを欠いた要因のひとつに、非常時の社会でオール静高力の結集が阻まれた面がある。現チームは練磨精

進したが、本校ネット裏を一年間閉ざさざるを得なかった環境では、野球部OB力が生かせず、ここの正念場で守護神による活路を選手に示せなかった。上野精三等が石田投手や秋本投手と一体となつて育んだ岳南球児力が発揮できずネット裏から湧き上がる市民ファンの押し上げ力も欠いた。現役応援指導部・教職員と生徒・父母会・心あるファンは七月の六戦を精魂込めて応援したが、聖地では時勢の壁を静高全体で越えられなかった感が強い。

この夏、77期石山建一主将レジェンドが指導育成した埼玉県立小鹿野の快進撃は「歌舞伎打線」と埼玉新聞一面で讃えられ、84期船川誠主将と90期水野彰夫ドカベン捕手が監督指導する城南静岡の健闘も光った。数百名の静高野球部OBの力を二二期池田新之助監督率いる本校にも活かして欲しい。静中静高の練習に先輩が参加する伝統は、明治29

年夏に11期柏原知格初代主将（後に大正9年裕仁皇太子欧州歴訪の御召艦香取乗船の主計中佐）が第一高等学校の名選手達を江尻海岸に招いたサマーパーティー以来連綿と続き、大正15年夏

甲子園大連商との決勝の試合前練習では、大観衆の前でOBが九人守ってレギュラー打撃を披露、15歳の上野精三優勝投手は試合後に「先輩が大勢来たら勝った」と話し、生涯「勝ったのは自分ではなくて静中の歴史だ」と語り続けた。その上野から教えを受けた一人92期遠藤一仁主将投手は準決勝今治西戦で秋本のリリーフとして一年生で聖地のマウンドに立ち「上野さんと同じ年齢だった」と力投し五回を完封した。96期太田智之投手は51期高木容平鉄腕投手の秘伝により相手のスクイズを何度も外して母校を学校創立百周年の聖地一勝に導いた。静高の選手は常に先輩と一体で闘ってきた。

この秋、新チームは緊急事態下で校内練習に徹し、秋季県で誠恵加藤学園、科技に勝ち、日大三島に敗れたが浜松西に勝ち三位で三年振りの東海に進み、大垣日大に敗れた。二刀流吉田優飛投手の「6km力投と強打は、どこか無骨でバンカラな、私達同窓生に岳南の原風景を思わせる迫力がある。四番袴田は自動車工から法大に進み江川卓とバッテリーの、あのオリオンズ袴田の親戚だ。立ち上がり、静高が新しい時代を拓かんと。球友年次会合を12月12日に予定します。同窓ファンどなたでもお気軽にお問合せ下さい。



137期応援指導部OG。左端は29期福地省吾野球部主将のお孫様のお孫様!!



夏県決勝草薙（半世紀前ではなく今夏!!です）



令和3年10月2日、久々の有観客の草薙に姿を現した新チーム



永遠の・・・縦編との闘い・・・いや友好

事務通信

◆名称が変わりました

今年度総会にて規約改正が承認され、令和3年7月2日を施行日として関東同窓会の名称を、「静中・静高関東同窓会」から、「静中静高関東同窓会」に表記を順次変更しています。

払込票を使っている年会費納入は、今回から同封している新名称の払込取扱票でお願いします。

◆年会費手数料について

ゆうちょ銀行は、令和4年1月17日より、赤色で印字「通常払込料金加入者負担」の払込票をご利用でも、現金支払いは一律110円の別途手数料（新設）負担となりますのでご承知ください。

◆これまで（現金）

・関東同窓会負担（窓口 203円・ATM 152円）
・会員 無料

◆1月17日以降（現金）

・関東同窓会負担 変更なし
・会員 110円

口座から口座へ直接送金（電信振替・他行からの振込）の場合は、皆様に手数料のご負担をお願いしております。ゆうちょ銀行口座のある方はこれを機に「ゆうちょダイレクト」加入がオトクです。通常の電信振替手数料（窓口 146円、ATM 100円）が月5回まで

無料です。

他の金融機関から振込の場合は、左記をご指定ください。

〇二九（ゼロニキユウ）店
当座 〇〇〇〇9969

手数料は各金融機関のサービス内容により異なりますのでご確認ください。

◆住所変更のご協力に感謝

多くの皆様のご協力により、宛先不明で戻ってしまいう会報数がおかげで減少しています。

88号 150部（宅配業者で送付）
89号 113部（日本郵政に変更）
90号 35部
91号 38部

一度、宛先不明で戻ってしまい、残念なことにそこで会員名簿から削除せざるを得ませんが、転送期間中にメールや電話・払込票通信欄ご利用のほか、特にホームページ「住所変更フォーム」で多くの方が連絡してくださり大変助かっております。

2020年度 55件
2021年度 32件
今後も、ご活用をお願いします。

◆原稿・写真、いつでも募集

静中静高関東同窓会の会報（年2回＝春・冬）とホームページ（随時更新）はOBが行き来する「情報広場」「ニュース交差点」です。

関東での同窓生参加イベント、同窓生の活躍ぶり、エッセー等お気軽にお寄せください。

会報メール添付で関東同窓会公式もしくは左記アドレスにお送りください。郵送の場合は事務所宛にお願いします。

▼「投稿ページ」↓「投稿フォーム」に記入してください。

◆広告掲載のご案内

1コマ一万円（年間二万円・税込）を、12月掲載確認後、一括で広告主様にご請求させていただきます。新規広告をご希望の方は広告データ（縦横比＝名刺相当）をお送りください。ジャンル不問です。会運営の収入源として大変助かっております。

◆ホームページ閲覧状況（半年）

前年度後期（10月～3月）
・訪問者 334人
・ページアクセス 16,910回
今年度前期（4月～9月）
・訪問者 548人
・ページアクセス 21,954回
◆会員現況 368名（60名減）

大学一年生3人が総会参加 「同窓生に会う楽しみ」

今年春に静高を卒業し関東の大学に入学した3人（23期）が7月2日の総会に登場。会報90号「わたしと俳句」（20年12月発行）ご寄稿の渡辺俊介君が、笠井翔太君、峯村明日斗君を誘ってくださいました。

「多くの先輩に会えて感激した」「入学以来授業はオンラインばかりで大学にも行けないので生き返った」「今後も関東同窓会で同期や先輩に会うのが楽しみ」と嬉しそう。異業種交流会など同窓会イベントに期待していました。

渡辺君が多くの関東同期生を勧誘。6人が会員住所登録しました。若い世代のご参加大歓迎です！



上京して3か月の初々しい大学一年生（前列3名）

編集後記

▼特集「徳川慶喜と渋沢栄一」では静岡と母校の歴史をたどりました。もう一つ駿府が光世を放ったのは家康の御所時代。この最高権力者は10年間に亘り大胆な政策を命じ内外の要人が駿府に集結、実質的な「首都」に。家康の死後、多くの家来が江戸に移住し駿河弁が江戸の言葉として定着しました。江戸初期と明治初期がリンクし標準語は「静岡起源」と言えそうです。

▼現代俳壇を代表する恩田侑布子氏（91期）のエッセーはさすが一級の文芸作品。故郷の緑と水辺、そして母校界隈が懐かしく甦りました。（浩）

▼今号より発行主体が「編集人」から「会報編集委員会」に変更になりました。編集委員は中沢京子（97期）、見原万智子（95期）、島田淳（95期）、八牧浩行（82期）です。よろしく願います。

▼今回も皆さんのアツい執筆にほだされ手応え充分のパズル作業。この達成感一度覚えたら止められない。中毒仲間、募集中。（京）

▼海外旅行先でも道を聞かれるほど油断と隙だらけ、おまけに近眼老眼乱視ですが頑張ります。応援をお願いします。（万）

▼校正の助っ人程度の軽い気持ちで参加したらさあ大変。執筆者と編集者の熱量は「新聞部か？」求む「助っ人の助っ人」（淳）



非破壊検査のトータルサプライヤー

日本マテック株式会社

NIHON MATECH CORPORATION

代表取締役社長 松島 勤 (84期)

東京本社：東京都新宿区若葉 1-21-17 3F
 TEL: (03) 3221-7531 FAX: (03) 3221-7240 (〒160-0011)
 大阪支社：兵庫県高砂市春日野町4-35 グランメーブル435 1F
 TEL: (079) 447-1561 FAX: (079) 447-1556 (〒676-0814)
<http://www.matech.co.jp/>



株式会社 スマートグラフィックス

代表取締役社長 福田 浩志 (97期)



〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-34-13
 TEL. 03-3953-1184 FAX. 03-3953-1194



〒335-0036 埼玉県戸田市早瀬 2-22-10
 TEL. 048-422-3660 FAX. 048-422-3661

smagras

「三島」に移住したくなるサイト
 Mishima Style 三島スタイル



HP

曽根正裕
 (95期)



Youtube



高きを仰ぎて心を繋ぐ

さあ一緒に時空を超えて
 吾等が聖地を歩みましょう

岳南球友会

会長：望月 一男 (70期 野球部)

HP「岳南球友会」

連絡窓口：080-5580-2958 (94期 松永)

メール：k30.ska-1213m@ezweb.ne.jp



ayami-takada.com



ayami takada architects

代表・一級建築士 高田 彩実 (120期)

建築・ランドスケープ・インテリアの企画・設計及び監理 / 都市開発・地域開発・都市計画に関する企画・調査・
 設計・監理 / 家具・工業デザインの企画・設計・販売 / 都市及び建築に関する教育・講演・出版

幼児教育に新しい風を



こぐま会

幼児教育実践研究所

代表取締役 久野泰可 (83期) 取締役 久野淑子 (83期)

本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
 TEL 03-3463-3815

Lighting For Your Safety

Koito

<https://www.koito.co.jp>

安全を光に託して

人とクルマの安全は私たちの願い

【本社】東京都港区高輪四丁目8番3号 TEL:03-3443-7111
 【静岡工場】静岡市清水区北脇500番地 TEL:054-345-2251(代表)
 【海外工場】USA、メキシコ、ブラジル、UK、チェコ、中国、台湾、
 タイ、インド、インドネシア、マレーシア
 小糸静高会 会長 大嶽隆司(74期)

鈴 与 株 式 会 社

代表取締役会長 鈴木 与 平 (76期)
代表取締役社長 鈴木 健一郎 (110期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1
TEL 054 (354) 3015 (秘書室)
京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7
TEL 03 (6404) 2100

「何宗ですか?」「ハイ、皆之宗(みなのかみ)です!」

～いざという時、頼りになるかかりつけのお寺～

普 門 庵

臨済宗大徳寺派 住職 見城宗忠 (90期)

206-0801 東京都稲城市大丸 857
Tel : 042-378-1707 Fax:042-379-8647
URL : <http://www.fumon-an.jp>



建築・不動産活用、アート活動などのご相談はどうぞ
ArchitectS Office & Gallery

一級建築士 石川雅英 (94期)

若いクリエイターの支援活動をしています

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-16
T 03 - 5847 - 7785
F 03 - 5847 - 7788
architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp
www.rvstone.com

伊豆の旬 **やんも** 
www.yanmo.co.jp

小林秀男 (97期)

<南青山> 東京都港区南青山5-5-25 T-PlaceビルB1

TEL:03-5466-0636 (日曜日のみ休)

<丸の内> 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビルB1

TEL:03-5224-3322 (定休日なし)

<大手町> 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビルB1

TEL:03-3278-7272 (土日祝定休)

伊豆の旬 **やんも**

仕出し厨房 **やんも**

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
敷下ビル6F
(TEL) 03 (3251) 2348
(FAX) 03 (3257) 0820



激動世界! 正確な真相ニュースで「平和」に貢献

相談役・主筆 八牧浩行 (82期)

yamaki@recordchina.co.jp

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館3F
TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)
OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848
E-mail : tosu@mtj.biglobe.ne.jp

* 昼2時より夜11時まで診療 *

医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 蘆科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分
TEL 0120-376-480
FAX 03-3710-8847
〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

mail: jimbo20seiki@gmail.com

2階) ブックカフェ二十世紀



- アメコミ・海外コミック
(MARVEL&DC他 原書リーフ/TPB/ハードカバー、日本語版)
- 歴史・民俗・風俗・江戸・東京・食べ物
- 演劇・芸能/TV・音楽・落語・盛り場
- 絵本・児童書・漫画・雑誌・サブカル
- 思想・哲学・人文
- 明治文学・評論

SF、ミステリ、幻想と怪奇

(SF、ミステリ、推理小説
幻想・怪奇小説、ホラー & ファンタジー、評論他)

映画グッズ・関連品

(ポスター・パンフ・プレス・チラシ・写真他グッズ・書籍)

文学/人文系

(文学・評論他、岩波・ちくま・講談社学術文庫他)

昭和の芸能、スポーツ関連 (野球・相撲・プロレス)

その他サブカルチャー、書籍百般



@ワンダー (1階)

mail: wonder@atwonder.co.jp

書籍 家財 雑貨 等

買入れ・整理・片付け

お気軽に御相談下さい!

@ワンダー

フリーダイヤル **0120-154-727**

店主 鈴木 宏 (91期)

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5-4 開拓社ビル 1・2F